

HSKについて

- HSK とは、汉语水平考試（Hànyǔ Shuǐpíng Kǎoshì）の略。
- 中国の教育部が認可した**国際的**な中国語の語学検定試験。
- レベルは初級の1級から最高の6級まで。
- 中国語が非母語の学習者が対象。
- 英語資格のTOEICのように**中国語学力をはかる基準**であり、またTOEFLのように日本国内・中国国内において教育機関や企業での**国際的な中国語学力の証明書**として認定されている。
- 就労ビザ**の外国人来華就業許可制度のランク付け基準としても認定されている。
- HSK6級180点以上で、**通訳案内士**の中国語筆記試験が免除される。
- 日本の某大学の**推薦入試**で、外国語語学力の証明書として認められている。
- HSK4級以上が、中国の大学**留学入学基準**とされている（一般に文系で5級、理系で4級が求められる）。
- 試験問題は、1、2級はリスニング（聴力）と読解（閲読）の2パート、3級から作文（書写）を加えた3パートから成り、総得点の**6割**が合格ライン。5級と6級には可否の記載はなく点数のみ開示される。
- 試験場及び試験日程は→公式HP<https://www.hskj.jp/> 予約サイト有。ネット試験も実施。
- 日本ではHSKの他に5種の検定試験が行われている。そのうち、受験者数がHSKに次ぐ「中国語検定試験」（2018年統計：**HSK34,018人**、**中検29,935人**）との違いは以下の通り。

試験名称 (略称)	主催	特徴	会場数
漢語水平考試 (HSK)	中華人民共和國 政府教育部 (1991年～)	世界中で実施されている国際的な中国語資格。 中国政府が公認し、母語が非中国語の人の中国語 学力の評価基準に使われる。 日本国内・中国国内の大学や、日本国内・海外 の企業での採用・研修評価基準に使われる。 コミュニケーション能力の測定に特化してい るため、 実用的な中国語能力 が求められる。	日本国内：24都市 + ネット試験 海外：118の国と地域
中国語検定試験 (中検)	一般財団法人日本 中国語検定協会 (1981年～)	日中、中日の翻訳能力を重視する。 中国語の正確な知識を問う問題が出題され、 日 本語と中国語の相互翻訳力 が求められる。	日本国内：53都市 海外：中国とシンガポール

- 出題範囲は以下の通り

級	語彙数	リスニング 読み上げ回数	語順問題 (文法)	自由作文 問題	大学での第2外国語レベル	中国語検定該当 級
1	150	2	×	×	半年間で学習する初歩的なレベル	(無)
2	300	2	×	×	1年間で学習する基礎的なレベル	準4級
3	600	2	○	×	1年間半で学習するレベル	4級
4	1200	1	○	○ (短文)	2年間で学習するレベル	4級～3級
5	2500	1	○	○ (80字)		3級～2級
6	5000	1	×	○ (400字)		2級～準1級

- 各級の**語彙リスト**は、中国公式サイト <http://www.chinesetest.cn/godownload.do> 「其他」欄「新汉语水平考試 (HSK) 词汇 (2012年修订版)」で公開。
- 数年内にHSKの改編を行うとの情報あり（正式発表ではない）。「翻訳」の出題が追加され、等級は初級（1～3級）、中級（4～6級）、上級（7～9級）。初級に関しては基本的に大きな変更はない模様。